

2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)



2022年7月29日

上場会社名 株式会社大冷 上場取引所 東
 コード番号 2883 URL <https://www.dai-rei.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富田 史好
 問合せ先責任者(役職名) 専務取締役管理統括本部長 (氏名) 黒川 岳夫 (TEL) 03(3536)1551
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	6,318	14.3	351	51.3	372	61.0	251	62.2
2022年3月期第1四半期	5,527	8.6	232	57.8	231	54.8	155	58.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	42.55	—
2022年3月期第1四半期	26.24	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	11,483	8,537	74.3
2022年3月期	11,523	8,670	75.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 8,537百万円 2022年3月期 8,670百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	65.00	65.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,175	10.1	508	12.6	515	14.6	353	17.3	59.76
通期	25,000	8.9	1,150	10.0	1,150	7.7	788	8.0	133.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料5ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	6,008,300株	2022年3月期	6,008,300株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	98,627株	2022年3月期	98,627株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	5,909,673株	2022年3月期1Q	5,909,673株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大対策である、まん延防止等重点措置が3月下旬に全面解除となった事で、経済活動にも持ち直しの動きがみられました。しかしながら、ロシアによるウクライナ侵攻など国際情勢の緊迫化に加え、歴史的な円安の動きにより、原材料価格や原油を中心としたエネルギー価格が高騰する等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

国内食品業界におきましては、新しい生活様式の定着により内食需要は依然として高く推移しており、この状況はしばらく続くと思われております。外食需要についても、まん延防止等重点措置の解除後、緩やかな回復傾向で推移しております。

このような状況のもと当社は、コロナ禍の厳しい環境の変化に対応するため、従来の営業活動に加えて、直接貿易で調達したえび商品の販売に取り組むなど新たな営業活動も積極的に進めてまいりました。以上の結果、骨なし魚事業におきましては、「ダイスカットシリーズ」など当社独自商品の拡販や原料値上げに伴う販売価格の改定を推進したことにより売上高2,426,917千円（前年同期比2.3%増）、ミート事業におきましては、「楽らく匠味シリーズ」の販売強化などにより売上高602,930千円（前年同期比14.6%増）、その他事業におきましては、大手ユーザーへのえび商品拡販やベトナムに向けた輸出取引の拡充などにより売上高3,288,872千円（前年同期比25.1%増）となりました。これにより当期の売上高は6,318,720千円（前年同期比14.3%増）となりました。

損益面につきましては、商品増加や営業活動再開により経費が増加しましたが、売上の増収と直接貿易など仕入コスト削減により粗利金額が増加したことにより、営業利益は351,999千円（前年同期比51.3%増）、経常利益は372,981千円（前年同期比61.0%増）、四半期純利益は251,443千円（前年同期比62.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期会計期間末における総資産は前事業年度末と比較して39,315千円減少し、11,483,927千円となりました。これは主に商品が507,523千円、前渡金が329,591千円増加した一方で、現金及び預金が1,025,777千円減少したことによるものです。

(負債の部)

当第1四半期会計期間末における負債合計は前事業年度末と比較して92,971千円増加し、2,946,026千円となりました。これは主に未払法人税等が65,886千円減少した一方で、買掛金が121,276千円増加したことによるものです。

(純資産の部)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は前事業年度末と比較して132,287千円減少し、8,537,901千円となりました。これは主に四半期純利益を251,443千円計上した一方で、配当金の支払を384,128千円行ったことにより利益剰余金が132,685千円減少したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の将来予想につきましては、2022年5月10日に公表いたしました業績予想から変更ございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,743,246	1,717,469
受取手形及び売掛金	3,888,909	4,085,658
商品	2,476,335	2,983,859
前渡金	1,453,662	1,783,254
その他	70,070	26,682
貸倒引当金	△386	△406
流動資産合計	10,631,838	10,596,518
固定資産		
有形固定資産	643,736	639,903
無形固定資産	20,721	20,286
投資その他の資産		
その他	234,255	234,528
貸倒引当金	△7,310	△7,310
投資その他の資産合計	226,945	227,218
固定資産合計	891,404	887,409
資産合計	11,523,242	11,483,927
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,825,122	1,946,398
未払法人税等	200,439	134,553
賞与引当金	27,359	26,046
その他	424,211	457,964
流動負債合計	2,477,132	2,564,962
固定負債		
退職給付引当金	244,400	251,695
その他	131,520	129,368
固定負債合計	375,921	381,063
負債合計	2,853,054	2,946,026
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,909,825	1,909,825
資本剰余金	686,951	686,951
利益剰余金	6,269,268	6,136,583
自己株式	△200,091	△200,091
株主資本合計	8,665,953	8,533,268
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,234	4,632
評価・換算差額等合計	4,234	4,632
純資産合計	8,670,188	8,537,901
負債純資産合計	11,523,242	11,483,927

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	5,527,310	6,318,720
売上原価	4,552,468	5,154,152
売上総利益	974,842	1,164,567
販売費及び一般管理費	742,128	812,568
営業利益	232,714	351,999
営業外収益		
受取賃貸料	2,244	2,244
為替差益	—	18,436
その他	2,426	1,545
営業外収益合計	4,670	22,226
営業外費用		
賃貸収入原価	1,226	1,241
為替差損	4,302	—
その他	143	1
営業外費用合計	5,672	1,243
経常利益	231,712	372,981
税引前四半期純利益	231,712	372,981
法人税等	76,646	121,538
四半期純利益	155,066	251,443

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。